

# 平塚市青少年問題協議会令和5年度第1回全体会議 会議録

日 時 令和5年8月23日(水)  
午後1時30分～3時00分  
場 所 青少年会館2階 集会室  
出席者 委員19人(うち代理1人)  
幹事14人  
(うち委員兼務・代理1人)  
傍聴者0人  
欠席者 委員 5人  
幹事 1人

## 1 開会

【事務局】

## 2 挨拶

【市長】

- ・出席の御礼
- ・コロナ禍以降の市の行事や青少年課の事業の本格的な再開について
- ・本日の議題説明

## 3 自己紹介

【委員】

- ・自席から自己紹介を行った。

【事務局】

- ・新しく就任された幹事のみ事務局より紹介した。

## 4 議事

【事務局】

- ・過半数の委員出席による会議成立の報告
- ・会議資料の確認
- ・青少年問題協議会委員の説明・・・【資料1】

### (1) 協議事項

ア 副会長の選出について

【事務局】

平塚市青少年問題協議会条例第3条第3項に基づき、副会長を2人選任したい。2年任期のため、昨年度に引き続き、田中委員と高橋委員にお願いしたいが、高橋委員の交代があったため残任期間を後任の岩崎委員にお願いしたい。選任にあたり、意見があるか確認。

意見等なし

挙手による賛成多数により承認された。

岩崎委員、副会長席に移動。議事進行を田中副会長に移す。

イ 神奈川県青少年育成活動推進者表彰及び平塚市青少年健全育成功労者表彰の審査委員の選出について・・・【資料2 - 1、2 - 2】

ウ 少年の主張作文コンクール（小学生の部、中学生の部）審査員の選出について・・・【資料3 - 1、3 - 2】

【事務局】

当協議会から、「イ」に4人の審査委員の選出、「ウ」の小学生の部に3人、中学生の部に3人の計6人の審査員を選出していただきたい。

【田中副会長】

選任にあたり、推薦や意見があるか確認。

推薦・意見等なし

【事務局】

事務局案としては、次のとおりお願いしたい。

イ：長岡委員、岩崎委員、鈴木委員、土谷委員

ウ：（小学生の部）白井委員、津田委員、村田委員

（中学生の部）牧野委員、相馬委員、片野委員

【田中副会長】

拍手による賛成多数により承認された。

（2） 報告事項

エ 専門部会の構成について・・・【資料4】

【事務局】

昨年度の委嘱式後から委員の交代があった場合は、残任期間を前任の委員が所属していた専門部会に後任者が所属する。

青少年育成部会、青少年指導相談部会、青少年育成施設部会の3つの専門部会があり、青少年の健全育成、指導相談、育成施設に関することを各部会で審議する旨の説明をした。

オ 令和4年度青少年育成事業報告について

・・・【「ひらつか青少年そのすがたと動き」、資料5】

【幹事】

資料に基づき、令和4年度青少年育成事業を報告した。

青少年課 文化・交流課 保育課 こども家庭課 教育指導課 子ども教育相談センター 社会教育課 中央公民館 スポーツ課 中央図書館 博物館 美術館 人権・男女共同参画課（青少年課代読） 平塚警察署

質疑応答

【A委員】

・ネグレクト、DVなどの相談はコロナ前、コロナ中、コロナ後の数字の増減はどうなっているか。

・（こども家庭課）R2からR4にかけて増えている。コロナにより、家にいる時間が増えたことなどが考えられる。また、子どもの前での夫婦喧嘩や配偶者への

暴力は子どもへの心理的虐待にあたることから、見る（聞く）側の意識が変わっていて、明らかな虐待という段階ではなく、早めに通報されているため件数が増えているのではないかと推測される。

【 A 委員 】

・本市において、いじめの問題についてここ数年で変化があるのか。

・(教育指導課)認知件数は増えている。コロナが明けて徐々に部活動など子ども同士の接触の機会が増えてきたことが要因の一つと考えられる。また、いじめの定義(心理的、身体的な苦痛を感じたらすべていじめにあたる)の変化や、教師が積極的な認知に努めており、どんな小さなこともいじめとして認知するようにしていることから、認知件数が増加しているのではと考えられる。(H29~R1については増加、R2は減少、R3は増加している)

【 A 委員 】

・不登校相談の件数が増えている原因はなにか。

・(こども教育相談センター)要因は様々なので、その子の状況に応じた支援が必要と考えている。

【 田中副会長 】

・今年度4年ぶりに行われた青少年海外派遣事業について、団長である嶋崎担当長からお話を伺いたい。

・(嶋崎担当長)青少年海外派遣事業の概要を説明。団員は10名以内の募集のところ40名以上の応募があり、審査の結果、中学生3名、高校生7名、計10名が選考された。宿泊研修や英会話研修を経て、7/21~7/31の11日間ローレンス市へ派遣。団員はホームステイをし、日中は大学や図書館、州議事堂などの見学や副市長への表敬訪問をした。観光旅行では味わえないような日常生活に入り込んだことで、ローレンス市に親近感を持ち、団員の考え方や国際的視野に大きく影響したようだった。また、ローレンス市では温かい歓迎を受け、両市の友好親善の深さを改めて感じた。今回派遣された訪問団は、今回の派遣で終わるのではなく、派遣団OBOG会のヒコーキ雲の会での活動や、来年度のローレンス市訪問団の受け入れでホストファミリーをする予定。

【 田中副会長 】

・審査に携わった小野委員より感想を伺いたい。

・(小野委員)中高生の審査に初めて携わり、中高生がとても勉強していて、色々なことを考えているのだと感じた。無事に行けることを願ってお見送りをした。

・(田中会長)私自身も審査に関わり、特に高校生が3年間(コロナで中止の期間)ため込んでいた思いに強いものがあり、ようやく夢を実現させてあげることができると思えた。派遣後の活動や将来の計画が明確に描かれているところに感動した。この事業が意義深いものであることを改めて感じた。

【 田中副会長 】

・B委員に子どもたちの夏休みでの様子などを伺いたい。

・( B 委員 ) 何度か夜間のパトロールに参加したが、コロナ前に比べて子どもたちを見かける機会が少ないように感じる。コロナ前では公園などで見かけていたが、暑さのせいもあるのか、子どもの元気がまだ回復していないような気がする。もっと元気に活動できるような環境を作れば良いと思う。

【田中副会長】

・ C 委員に夏休みの行事や子どもたちの様子などについて伺いたい。

・( C 委員 ) 子どもたちが遊べる場所が少ない。花火やボール遊びの規制がかかっているため、結局ゲームを持って行き、日陰でゲームをしている。それが健全なのかどうか、と感じた。子どもたちがのびのびと遊べる場所をつくることを検討してほしい。また、3年ぶりに地区のお祭りやイベントが再開してきており、様々な問題があるが、地域で温かく子どもたちを見守っていただきたい。夏休みの最後に理科実験教室のイベントが行われる。化学が楽しいということを知ってもらい、これからは子どもたちの未来に明るい光をあてるような活動をしていきたい。

【田中副会長】

・ D 委員に公民館でのことについて伺いたい。

・( D 委員 ) 3月の公民館まつりで B I N G O を行った際は大盛況で、用意していたカードが足りなくなるほどだった。子どもたちが今まで、外に出て遊ぶことができなかつた象徴なのかと感じた。夏に開催した夏祭りも非常に好評だった。このように、子どもたちの育成のために公民館ができる範囲でやっていきたいと考えている。

【 E 委員】

・放課後等の子どもの居場所づくりについて、子ども食堂が増えつつあるが、どちらで広報されているのか。市からはどういった協力が得られるのか。

・( こども家庭課 ) 子ども食堂の P R は市 H P の「子どもの未来応援に関する取り組み」のページの中で子ども食堂を紹介するページがある。また、子ども食堂は各関係団体が連携して独自に地図を作ったので、市 H P にそちらのリンクを貼っている。子ども食堂に関する問い合わせについては、こども家庭課で受けて対応している。社会教育課の子どもの居場所づくりは事業として行っており、社会福祉協議会では補助金制度の案内など、市では多面的な支援を行っている。

【 C 委員】

・子ども食堂について、食中毒が出た場合どうすればよいのか。

・( こども家庭課 ) 食中毒の対応については、保健所での対応となるため、相談があった場合には保健所の指導を仰ぐようにしている。また、子ども食堂の開設マニュアルの中に安全衛生について記載があるため、案内している。

## 5 連絡事項

### 【事務局】

(1) 今後のスケジュールについて

・・・・・・【資料6】

・今後1年間のスケジュールについて説明。専門部会については別途案内を送付する予定。

(2) 「はたちのつどい」について

・令和6年1月8日(月・祝)に開催予定。今年度より、会場が平塚文化芸術ホールに変更となった。委員の皆様にご来賓として案内を送付させていただくので、御都合がよければ御出席願いたい。

(3) 各専門部会について

・11月～2月の開催予定で、開催日程が決まり次第通知をする。

(4) 審査会の日程について

・先ほど御選任いただいた「イ」、「ウ」の審査委員におかれましては、会議終了後、審査日程等を調整させていただきたい。

## 6 閉会

### 【事務局】

以 上